Dynamic Gait Index

対象:歩行が監視レベル以上の者

準備: 箱1つ、コーン2つ、距離6m幅40cmの歩行路、階段

条件:

・ いずれも快適歩行速度にて開始

・ 得点は当てはまる最も低い得点を選択

項目	点数	判断基準
1. 平地歩行(約 6m)	3	歩行補助具なし、良好な速度、バランスを崩さない、正常
指示:ここから次のマークまで歩		な歩行パターン
いてください。	2	歩行補助具使用、低速、軽度の歩容の崩れ
	1	低速、異常な歩行パターン、バランスを崩す
	0	重度な歩容の崩れあるいは、バランスを崩すが、介助なし
		で歩行可能
2. 歩行速度を変える	3	バランス・歩容の崩れがなく、速度変化可能、標準・高速・
指示:「速く歩くように」合図を		低速にかなりの差を示すことが可能
出したら、出来る限り速く歩いて	2	速度変化可能であるが、軽度の歩容の崩れあり、速度に大
下さい。次に「ゆっくり歩くよう		きな変化をつけられない、歩行補助具使用
に」合図を出したら、出来る限り	1	歩行速度のわずかな調整、著しい歩容の崩れを伴い、努力
ゆっくり歩いて下さい(約 1.5m		して速度変化可能、速度を変化させるが、著しい歩容の崩
ずつ)。		れあり、速度を変化させるが、バランスを崩す、しかし歩
		行継続可能
	0	速度変化困難、バランスを崩し、壁や何かを掴もうとする
3. 頭部を横に向けて歩く	3	歩容に変化なく、スムースに頭部を回転可能
指示:「右を向くように」合図を	2	わずかな歩容の乱れはあるが、スムースに頭部回転可能、
出したら、右を向いて真っ直ぐ歩		僅かな範囲で歩行経路の乱れが生じる、歩行補助具使用
いて下さい。次に「左を向くよう	1	中等度の歩容の崩れはあるが、スムースに頭部の回転可
に」合図を出したら、左を向いて		能、減速、ふらつくが歩き続けることができる
真っ直ぐ歩いて下さい。次に「真	0	重度な歩容の崩れを伴い、頭部を回転する、約 40cm 外側
っ直ぐ歩くように」合図を出した		にふらつく、バランスを崩し、立ち止まり、壁に手を伸ば
ら、正面を向いて真っ直ぐ歩いて		す
下さい。		

項目	点数	判断基準
4. 頭部を上下させて歩く	3	歩容に変化なく、スムースに頭部を回転可能
指示:「上を向くように」合図を	2	わずかな歩容の乱れはあるが、スムースに頭部回転可能、
出したら、上を向いて真っ直ぐ歩		僅かな範囲で歩行経路の乱れが生じる、歩行補助具使用
いて下さい。次に「下を向くよう	1	中等度の歩容の崩れはあるが、スムースに頭部の回転可
に」合図を出したら、下を向いて		能、減速、ふらつくが歩き続けることができる
真っ直ぐ歩いて下さい。次に「真	0	重度な歩容の崩れを伴い、頭部を回転する、約 40cm 外側
っ直ぐ歩くように」合図を出した		にふらつく、バランスを崩し、立ち止まり、壁に手を伸ば
ら、正面を向いて真っ直ぐ歩いて		क
下さい。		
5. 歩行と軸足回転	3	3秒以内に安全に可能
指示:振り返るように指示を出し	2	3秒以上で安全に可能
たら、出来る限り速く振り返って	1	ゆっくり実施し、口頭指示を要する、実施後に小さなステ
下さい。		ップを要する
	0	安全に実施できず、介助を要する
6. 障害物を越える	3	歩容・バランスの崩れなくまたぎ可能
指示:障害物をまたいで歩き続け	2	またぐことは可能であるが、速度を落としてしまう
て下さい。	1	またぐことは可能であるが、立ち止まらなければならな
		い、口頭指示を要する
	0	介助なしでは実施不可
7. 障害物の周りを回る	3	安全に実施可能
指示:最初の障害物の(約 1.8m	2	実施可能であるが、速度を落としてしまう
の距離に準備)右側を歩きます。	1	実施可能であるが、著しく速度を落とす、口頭指示必要
次の障害物では、左側を歩いて下	0	実施不可、片方あるいは両方の障害物内を歩くか、介助を
さい。		要する
8. 階段	3	手すりなしで、1足1段
指示:階段の昇り降りを行って下	2	手すり使用して、1足1段
さい(必要であれば手すりを使	1	手すり使用して、2足1段
用)。	0	安全に実施できない
	点数1	음計 (/24)

判定:

・ 19点以下:転倒の危険性が高い

・ 23 点以上:安全に歩行可能